

# 製本のススメ

Vol. 114

あっという間に秋が深まりましたね。毎年のことですが、寒くなるのは苦手です。着込むと動けなくなるし、薄着では寒い！最近では薄くても暖かい衣類が増えてきましたが、それでも寒いものは寒い！おでんが恋しい季節になりました。

今回は**切らないミシン加工**の話し

前号に続き今回は変わったミシンの使い方です。ミシン加工は切り取りするだけと  
思っていないですか？実はスジ押しのような加工にも使う時があります。たとえば板紙  
のような厚みのある用紙に、**浅くミシン目をいれて折り曲げやすくする**方法です。  
スジ加工の場合厚みがある用紙には、太い筋を入れなくてはなりません。すると折り  
曲げたか箇所厚みがでて、**シャープな感じになりませんが、ミシン加工ならば、かなり  
シャープに折ることができます。**(ただし用紙は半分ほど切れていますので あまり  
表だった場所には不向きかもしれませんね)

またCDケースなどに入っている表紙にも よくミシンが使われます。背のタイトル  
部分にミシン加工が使われており、折り曲げてケースに入っています。スジ加工では  
スマートにケース入れできないのです。さらに**紙目を あえて逆目に使うためスジ加  
工では手早く折れないという理由もあるようです。**

さて今回も紙目の話題がでましたね、スジやミシンなどの加工には紙目の影響が大  
きく出てきます。昨今 コピー機の性能も良くなりオンデマンド印刷も増えてきました。  
しかし、紙詰まりの影響もあるようで用紙の紙目が限定される場合が多く 前号にも  
書いたようなクレームも発生率が高くなっています。紙目の特性をよく理解され、それ  
に見合った加工ができるようなデザイン(面付け)をして頂けると、より早くて綺麗な製  
品をお届けできることと思います。不明な点は、遠慮なくお問い合わせください。



## Tea break

電話口で つい「もしもし～」と言っていますが、これは申す申す（これから  
何か言いますよ）が転じたものと言われています。ところが電話交換が始まっ  
た明治の頃は「オイオイ」だったそうです。ずいぶんと偉そうな言い方ですが  
当時電話を使えるのは、高級官僚や大実業家などでしたから、当然といえば当  
然(?)です。ちなみに受け手の応答は「はい。ようござんす」でした。この  
オイオイが、モシモシへ変化したのがいつ頃からなのかは、今のところ定かで  
はないようです。

<http://www.isekiseihon.com>

(株)井関製本  ← click

by (株)井関製本